

2003

広報

かなだの

風風 1.1

No.462

つきたてのお餅はおいしいぞ

写真は、12月14日太陽地区で行われた餅つきの「レジャ」。地域の親睦を深めようと昨年からはじめたというイベントです。つきたお餅は約45キログラム。各家庭に配る分をつきあげ、残りはおろし餅やきなこ餅で食べました。子どもたちは「おいしい」とつきたてのお餅を口いっぱいほおばっていました。

もくじ

新年のごあいさつ	2~3
民生・児童委員の紹介ほか	4~5
かなだ日記	6~7
食進会です!	8
お店商開	9
みんなのひろば	10~
くらしの情報ほか	12~



福岡県金田町

ホームページアドレス <http://www.town.kanada.fukuoka.jp>

共に手をたずさえ
新しい明日へ

新年のごあいさつ



平成十五年の新年を迎えるにあたり、謹んで町民のみなさまにお喜び申し上げますと共に、年頭にあたり、みなさまにご挨拶申し上げます。

昨年は、世界的にはイラクの大量破壊兵器査察や北朝鮮の核開発をめぐる新聞紙上をさわがせました。

また、国内的には北朝鮮による拉致被害者帰国などで大きく世間が揺れるなか、ますます不況が深刻化しており、銀行の統合、ペイオフ、企業のリストラ、高速道路路公団の民営化、そして市町村の合併問題など色々な問題が起きています。

私も町長就任以来満二年を過ぎ、昨年の挨拶のなかで述べさせていたいただいた情報公開条例、昨年七月施行の政治倫理条例、また、十一月二十九日に答申を

いただいた職員倫理条例も本年三月議会に上程する予定です。このような条例を有効に活用しながらオープン市政、スピード行政をより推進して行きたいと思えます。

自然と環境を守るルールにつきましては、河川整備事業もあと人見地区を残すだけとなりました。昨年の十二月には河川の遊歩道を利用して田川郡のマラソン大会、駅伝大会が本町で開催されました。今後も国土交通省と協議を重ね、町民のみなさまが利用しやすい施設にしたいと考えています。

オーブンが非常に遅れご迷惑をおかけした「ふるさと交流館日王の湯」も十月より営業を開始し、周辺整備の第三期工事も開始され、今春にはさらに新たな装いでお目見えすることになると思います。町民のみなさまの憩いの場として、また近隣市町村のみなさまの交流の場としてご利用いただきますよう心よりお願い申し上げます。

昨年より、合併問題が急激なテンポで進行しています。田川市郡首長、議長の勉強会も開催され、本町においても、十一月に全職員対象の学習会を開催しました。合併問題は本町、本地

金田町長
吉田 桃生

域の将来に大きな影響を与えるものであり、合併の是非、枠組みなど町民のみなさまのご意見をお聞きしながら進めて行きたいと考えています。そのためにも役場が持っている情報につきましては、積極的にみなさまにお伝えしたいと思います。

役場事務改善委員会による行政機構の見直し答申に基づき、昨年五月二十日より新たな体制で業務を行っております。これからも日常的な点検活動を続けながら、より簡素で効率的でみなさまの利用しやすい行政機構の確立に向けて努力してまいります。

最後に、本年は本町にとって合併問題をはじめとして大きな変動の年になると予想されます。難しい舵取りが求められると思います。町民のみなさまと私たち行政が色々な機会を通じ意思のキャッチボールをし、共に手をたずさえながら、新しい明日へ歩き続けたいと思います。

本年もみなさまにとって良い年でありませうと祈念し、年頭の挨拶といたします。



平成十五年の年頭にあたり、金田町議会を代表しまして謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

町民のみなさまには、町政伸展のため惜しみなく力一杯のご協力を賜り、誠に感謝にたえません。

私が申すまでもなく、事の良否はただちに町政のうえに反映いたしますので、町民のみなさまもひとしくこれを注視しておられたことと存じます。

町議会においても、町民の将来を念頭においてご期待に添うよう、万全を期して、専念いたしてまいりました。

議決機関たるわれわれ金田町議会といたしましても、本年もまた終始公正に金田町民の信託にこたえ、町政の諸問題を慎重に審議し、町民各位のご期待に添うよう努力する決意であります。

ここに希望の新春を迎え、みなさまの御清福と御繁栄を心から祈念いたしまして、ごあいさつといたします。

金田町議会議長
若林 佐久馬



町村の広域化が課題となつています。田川は今、一市九町村の自治体として行政活動がなされていく郡でしたが、百年前は一つの郡でした。

それは一つの川によってつながっています。彦山川、中元寺川、今川はその生活の母として文化を創り世界の海とつながっていました。今でも変わりがありません。

人間の生活は大きく変わりました。現実の快楽を求め、経済上の利益を価値とした便宜主義は人々から高い理想と価値観を失わせ、ちまたにゴミと犯罪者が増加し、大気も土地も水も汚染の途をたどるばかりです。

かつて秀麗、水明のふさとの山河はその地底の石炭を掘りつくし、白ダイヤと言われた石灰岩の山は削られて赤肌とな

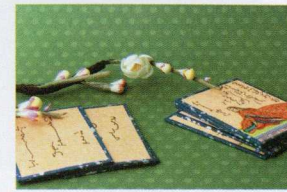
り、地下の泉も汲み上げられて地球の砂漠化と共に人心の乾燥化は自然の遺産を急速に失いつつあります。武力の集中によって人類の秩序と平和を維持しようという構想にどれだけの信頼が持てるのでしょうか。

あとは何を掘り何を創るのでしょうか。

ひとりひとりの脳から知恵を掘り出す以外にないのであると思いませんか。そこに限りなく生きる喜びが見つかるはずで「おめでとう」というのは、文化としてつくり出されるこの象徴であると考えます。

「めでたさも中位なりおらが春」一茶に笑われないういよ年になりますよう心からお祈りいたします。

金田町教育長
田中 貴美男



筑豊美展で高い評価 町のアーティストたち

直方市の谷尾美術館で、十一月十二日から十七日にかけて「第五十六回筑豊美展」が行われました。この美術展は、筑豊美術協会の主催で、筑豊地区在住のアマチュア作家を中心とした作品展です。福岡県美術展や中央展などに出品するため、の登竜門でもあり、出品作は力作ばかりです。

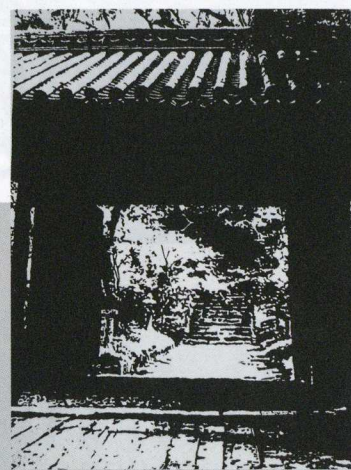
金田町からは、九人が出品。このうち三人が優秀作品として、表彰されました。若林良明さん（神崎二）は版画の部・優秀賞会員推挙を受賞。若林さんは三年連続の受賞です。また、三年目で会員推挙を受けるのは筑豊美術協会では異例のことで、快挙だといふことです。

同じく版画の部・奨励賞に吉田寛吾さん（本町二）が受賞。吉田さんはわずか二回目の出品で初受賞。これからの活躍が期待されます。彫刻の部・奨励賞に吉田繁俊さん（宝見）が昨年に続き二回目の受賞。制作意欲が旺盛な吉田さん。自宅の工房にはたくさんさんの仏像彫刻が並び、すばらしい作品が制作されています。受賞した三人の作品と喜びの声を紹介します。



優秀賞受賞の若林良明さん

この作品は、制作に3カ月ほどかかりました。下絵を描く際に、白と黒の部分調整に苦労しました。今回も受賞できて、光栄です。

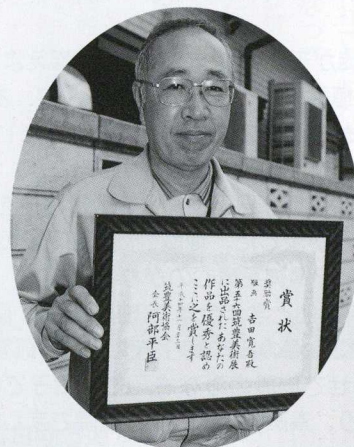


受賞作「秋月黒門」



受賞作「表門」

今回は、2回目の出品で奨励賞をいただきました。下絵を描くのを苦労しただけに、とてもうれしいです。来年は、もっと大きな作品を制作して、上を目指します。



奨励賞受賞の吉田寛吾さん



受賞作「布袋さん」

昨年に続いて今年も受賞でき、素直に喜んでいきます。これからも、自分が納得のいくたくさんの作品を創り出していきたいです。



奨励賞受賞の吉田繁俊さん

あなたの力に みなさんの地区の民生委員・児童委員

民生委員、児童委員は厚生労働大臣に委嘱された地域福祉の充実を図る協力者です。

介護問題、身体障害のこと、子どもの問題、生活保護に関する事など、福祉に関する悩みは、お気軽にご相談ください。相談の秘密は堅く守られます。

今回、欠員となっていた民生・児童委員および主任児童委員にそれぞれ井上正博さん、永富千里さんが選任されました。

委員の氏名、担当地区および連絡先は、次のとおりです。
(敬称略)



今回新しく選任された井上正博さん(左)と永富千里さん(右)

担当地区名	氏名	電話番号	担当地区名	氏名	電話番号
東金田	桑野秀幸	22-5593 22-0500	福丸・七十石・小豆田団地 福丸団地	原田健一	22-2081
西金田・堀川	福田キヨ子	22-2991	神崎1の一部・神崎2	堀江樹美	22-3576
上金田(2)	井戸龍生	22-2769	神崎1・田の口・飯土井 柿添団地・平和台	山本 壽	22-6820
上金田(1)	木戸藤光	22-1187	南木	世並徹也	22-3523
敷島・泉宮金田団地 亀の甲団地	田島義昭	22-0415	高見町・高見団地	和田正氣	26-3301 22-0132
本町3~5丁目 新町3~4丁目	金山文雄	22-0001	星ヶ丘団地・福吉・福吉団地	犬養光博	22-2072
本町1~2丁目・天神町・高畑 新町1~2丁目・昭和町	中村龍二	22-4919	竹本・太陽	河野興治	22-2876
宝見(1)	大井次雄	22-4022	平原(1)・平原団地	藤元万里子	22-5880
宝見団地・成竹団地(宝見側) 宝見(2)	浦田光國	22-3358 46-1258	平原(2)	平元國子	22-4246
人見坂・黒尾・人見	井上啓子	22-2029	主任児童委員	寺本ハマ子	22-0476
成竹団地(消防側)・人見団地 岩淵・宮床・境町・成竹	松村靖征	22-4484	主任児童委員	永富千里	22-0505
笹尾・若草団地・母子寮	井上正博	22-5111			

金田町職員倫理条例案を答申

11月29日、金田町職員の公務員倫理に関する条例制定審議会(会長・斎藤文男九州大学名誉教授)が「職員倫理条例案」を吉田町長に答申しました。

答申条例案は、職員が業者から金品などを受け取ったり、ゴルフや飲食などの接待を受けることの禁止を定めています。また、職員の禁止行為だけでなく、町民などにも職員に不正な仕事をさせるような働きかけを禁じています。不正を働きかけた側への制裁を盛り込んでいるのが特徴です。3月議会で提案され、4月施行を目指します。

「金田町はすでに情報公開条例、政治倫理条例を制定している。今回答申した職員倫理条例案が制定されて初めて公正な政治・行政が可能になる。これから職員倫理条例制定を考えている自治体のモデルになるだろう」と斎藤会長は話していました。



吉田町長に条例案を答申する斎藤文男会長